公益社団法人霧島青年会議所　２０１９年度　第七回　理事会　議事録

開 催 日：令和元年７月３０日（火）

開会時間：２０時００分

閉会時間：２３時５５分

開催場所：ＪＣ会館

1. 開会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　　盛田　啓仁　君
2. JCIクリード唱和　　　　　　　　　　　　　　　　　木野田　幸平　君
3. JCIMISSION及びJCI Vision唱和　　　　　　　　重野　隆太　君
4. JC宣言文朗読並びに綱領唱和　　　　　　　　　　　板元　幸仁　君
5. 霧島JC未来ビジョン唱和　　　　　　　　　　　　　鈴吉　美絵　君
6. ２０１９年度スローガン唱和　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　同上
7. 理事長挨拶

理事長　藏元　国明君

本日もご出席いただきありがとうございます。梅雨も明けて暑い日が続いており体調管理が難しいところではありますが、体調に気を付けて仕事そしてＪＣ活動に励んで頂けましたらと思います。話変わりますが、いよいよ当青年会議所でも運動を発信する時期に入ってまいります。議案を作る中で、皆さんのご意見、ご指導いただいたなかで本日審議となります。通すことが目的ではありません。しっかりと意見すべきところは意見を頂けましたらと思います。冒頭話をしましたが、体調には気を付けて頂けましたらと思います。最後となりますが、本日出席の高橋君、池田君ようこそ理事会の場へお越し頂きました。今までのＪＣ活動・運動とは雰囲気が違いますが、色々なものを見ながらで勉強して頂けましたらと思います。

1. 直前理事長挨拶

直前理事長　前田　数馬君

　皆さんこんばんは。理事長からもありましたが、本当に暑い中で仕事もありながらこの理事会に参加頂きましてありがとうございます。本日はまちづくり事業が審議予定となっております。板元委員長をはじめに会員拡大に関して多くの新入会員が入ってきて新生霧島青年会議所といっても過言ではないほど、拡大が進んでいる中で、しっかりと霧島青年会議所の意義や魅力を仮会員、新入会員の皆様に伝えていきながら今後繋がっていく灯がきえないようにして頂けましたらと思います。合わせて内部拡大についてもしっかりと行い同じ方向を向いて進んでいけるように理事役員が気を引き締めて取り組んで今年度の事業を成功に導いて欲しいと思います。

1. 顧問挨拶

欠席のため割愛

１０． 議長選出

審議事項：理事長　藏元　国明

協議事項、報告事項：専務理事　前田　大悟

１１．議事録作成人並びに署名人の指名

議事録作成人：橋事務局長

　　　議事録署名人：木野田副理事長、板元委員長

１２．出席者及び定足数の確認

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 藏元国明 | 〇 | 鈴吉美絵 | ○ | 木野田幸平 | ○ | 田上俊介 | 〇 | 重野隆太 | 〇 |
| 板元幸仁 | 〇 | 盛田啓仁 | ○ | 前田大悟 | 〇 | 南郷英俊 | ○ | 橋正貴 | 〇 |

　　理事１０名中１０名出席により定足数を充たしていることを確認した。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 前田数馬 | 〇 | 竹下圭一郎 | × | 井上正樹 | △ | 常盤大和 | ○ |
| 東井上陽平 | 〇 |  |  |  |  |  |  |

　　役員５名中、現段階で３名出席により定足数を充たしていることを確認した。

オブザーバー　池田くん、高橋くん

１３．議題並びに資料の確認

審議事項１０件　　協議事項　７件　　連絡・報告事項１件　となっております。

１４．議事録承認の件

鈴吉　　：修正を数点お願いしまして修正を確認したことを報告させて頂きます。

重野　　：確認のうえ不備なく整備されていることを報告させて頂きます。

１５．議題

審議事項１：正会員承認（高橋　理一君）の件

木野田　：正会員承認が4名となっております。仮会員費は入金済です。詳細は委員長より説明致します。

板元　　：４名とも入金の確認並びお二人ともスケジュールはクリア頂き、高橋君と池田くんは、本日の理事会をもってスケジュールを満たしております。また４名とも意思の確認をさせて頂いております。

南郷　　：４名の仮会員費の入金確認はできております。

藏元　　：他になきようでしたら、審議に諮りたいと思います。

審議

全会一致で審議可決

審議事項２：正会員承認について（前田　裕貴君）の件

審議

全会一致で審議可決

審議事項３：正会員承認について（荒殿　裕樹君）の件

藏元　　：審議

全会一致で審議可決

審議事項４：正会員承認について（池田　唯君）の件

藏元　　：審議

全会一致で審議可決

板元　　：今後ともフォローをお願い致します。

藏元　　：委員会に配属となりますが、仮会員期間は拡大広報の委員会しか見ていないと思いますので、２委員会についてはフォローをお願いします。

審議事項５：仮会員承認（古川　葵君）の件

木野田　：２名の仮会員承認を上程させて頂きております。詳細は委員長より説明致します。

板元　　：先月の２４日に二人の面接をしたうえで、入会の意思を確認させて頂きました。情報については閲覧で回しておりますので確認ください

藏元　　：では、先に紹介者よりコメントをお願いします。

板元　　：サッカーの練習に参加頂き、話をさせて頂きました。ハキハキとされた方で好青年でありまして出席の見込を高いとお話伺っております。

藏元　　：西村君は自分の方から説明します。社長の方も前向きに考えて頂いております。本人は意識が高く色々な方と繋がりたいという意思をもっております。

藏元　　：他になきようでしたら、審議に諮りたいと思います。

　　　　　審議

全会一致で審議可決

審議事項６：仮会員承認（西村　聖也君）の件

　　　　　審議

全会一致で審議可決

板元　　：二人とも若い年代での入会となっておりますのでフォローのお願いと目標としている１５名まで残り２人となります。合わせて協力をお願いします。

審議事項７：２０１９年度　８月補正予算（案）の件

前田(大)：事前に監事にも確認頂いております。拡大に伴い収益が増加しております。事務局員の給与に関して適切な項目がありましたので修正しております。あと、渉外費に関して今後も公務が多く入っていることから増加しております。事業費に関しては、まちづくりは協賛を含む形、拡大広報は協賛を削除しております。

南郷　　：補足となります。会費に関してですが、入会時期が異なることと本日入会される２人分が追加となりますので、３２９，０００円が増加となります。

藏元　　：他に無きようでありましたら審議を諮りたいと思います。

　　　　　審議

全会一致で審議可決

審議事項８：２０２０年度理事役員（案）の件

前田(大)：次年度理事長予定者より提出がありました。説明は田上副理事長よりお願いと思います。

田上　　：理事選挙の結果も踏まえて理事を決めさせて頂きました。記載の１３名で提出させて頂きたいと思います。

鈴吉　　：理事長が出すのですが、理事長の氏名にも君が必要かと思います。

田上　　：昨年度の資料をもとに作成しておりますので、問題ないかと思われます。

藏元　　：補足ですが、出向役員に関しては別途定めるところですので、改めて依頼があるかと思います。

藏元　　：他に無きようでありましたら審議を諮りたいと思います。

　　　　　審議

全会一致で審議可決

審議事項９：２０１９年度新入会員オリエンテーション事業計画書並びに予算（案）の件

木野田　：正副で意見があったのですが、前回までＪＣ会館となっていたのですが場所を変更しております。

板元　　：会場を商工会の２Ｆに変更しております。予備日についても押さえております。伴って予算の方が修正されております。

南郷　　：確認ですが、会場は１時間１，０００円で間違いないでしょうか？

板元　　：間違いありません。

常盤　　：会場が変わったのですが、予備日について何人いれば商工会館を使用するのかを教えてください。

藏元　　：台風等の場合は、この会場でする。少人数の際は、ＪＣ会館で実施する形で良いのではないでしょうか？

田上　　：計画書には出てこないのですが、副理事長と財政の方と事前にしっかりと確認をして頂けましたらと思います。

審議

全会一致で審議可決

審議事項１０：２０１９年度　８月通常総会計画書並びに予算（案）の件

鈴吉　　：前回からの修正として、１月総会にて議決権行使書と委任状を同じ返信用はがきで出していたのですが、正副での意見もあり委任状のみとしております。

重野　　：副理事長の意見と同様に議決権行使書の点は修正しております。８月総会は人事案件と補正予算という議題となっておりますので、厳粛に会を進めて参りたいと思います。

藏元　　：意見２にあるのですが、議決権行使に関しては定款変更の必要があるのではないかということで、委任状のみとしております。新しい取り組みとして１月に実施した中で、今後定款を変更するのかは検討頂けましたらと思います。

南郷　　：予算書に関しては適切に整備されていると思います。

前田　　：８月総会は次年度のお披露目となりますが、前日まで高い出席率の中で当日キャンセルが多いという例会の反省に対しても対策をして頂けているところかと思います。全会一致とする中で多くの会員に参加して頂ければと思います。

重野　　：出席率に関しては、他の委員長との話でも上がってきているところであり、対策に頭を抱えているのですが、電話や直接声をかけて参加促進に繋げていきたいと思います。

前田(大)：通常総会の式次第に場所の記載がありませんので、国分荘を追加してください。

藏元　　：他に無きようでありましたら審議を諮りたいと思います。

　　　　　審議

全会一致で審議可決

田上　　：休憩動議

セコンド　橋　板元

２１：０５まで休憩となる。

協議事項１：誰もが夢を描けるまちづくり事業計画書並びに予算（案）について

田上　　：４回目の協議となり申し訳ありません。前回から臨時の正副を開催頂き事前配信とさせて頂きました。修正点として会場の変更、ポスター等は案を追加しております。監事から意見がありましたが、協賛金が集まらなかったときの対応として８月末を協賛の期限として補正を組ませて頂こうと思っております。

盛田　　：事業のテーマとして市民の社会参画意識の醸造とさせて頂き、計画を立案させて頂いております。

重野　　：確認なのですが、８月１８日に研修会を実施するのでしょうか？

盛田　　：前回、８月５日と計画していたのですが、スケジュールの修正をさせて頂いております。

田上　　：その日は、委員会を中心にリハーサルとさせて頂きたいと思います。

南郷　　：事前配信で意見させて頂き修正の確認できております。本日気付いた点なのですが、小会議室の収容人数を教えてください。

盛田　　：５０名収容可能と伺っておりますが、配置次第でもう少し入るとのことでした。

南郷　　：人数は入る計画となっているのでしょうか？

盛田　　：はい。

南郷　　：振り返りの会の会場費の備考欄が間違っております。

盛田　　：わたくしのミスです。修正させてください。

南郷　　：もう一点です。協賛について先ほど修正予算をあげるとのことでしたが、集め過ぎた場合はどの様に対応されるのでしょうか？

田上　　：同じく修正予算として上程させて頂きます。

前田(大)：この事業の損益分岐点はどこになるのでしょうか？

田上　　：もちろん、集める気でおりますが事業の性質上何かを削って対応は難しいと思いますので、修正議案での対応を考えております。

常盤　　：事前配信を確認させて頂き対応されています。委員長に質問ですが、この事業の最終ゴールを教えてください。

盛田　　：一人ひとり社会参画意識を醸造するという点です。参加した若者がまた来年もやりたいという気持ちが生まれ継続することが出来ればと思っております。

常盤　　：検証方法を教えてください。

盛田　　：アンケートでの対応を考えております。また、その後の提言に繋がる様に若い世代の想いを抽出できればと思います。

常盤　　：議案の中にアンケートはあるのですが、その後まちづくりを行う事という部分にどの様に繋げていくかかと思いますので、まだ時間はありますので流れをしっかりとイメージして聞きたい事が聞けるように設えをしてください。

盛田　　：精査のうえ、しっかりと検証できるような事業にしたいと思います。

南郷　　：もう一点、協賛について確認なのですが、集め方はどの様に考えておりますでしょうか？

盛田　　：委員会を中心に他委員会に依頼し、集めたいと思います。

南郷　　：領収書を４冊購入と予算組されていますが。各委員会と理事役員という認識でしょうか？

盛田　　：その様に考えております。

木野田　：確認しておきたい点は、研修から会議、フェスと長いスパンの事業となりますが、

全体的な繋がりはあるのでしょうか？

盛田　　：すべての回で、社会参画意識を高めることをテーマとして参加される若い世代の方々には経験と達成感を味わって頂き、夢を描けるまちを自分たちで描いていけるような内容としております。

木野田　：最初に研修をしてワークシートを使ってすすめて若い世代の人たちに立案とあるのですが、委員会として答えはもっているのでしょうか？

盛田　　：今の段階で決まっていないのですが、子供たちの意見を集約することで、自分たちの意見が、どの様に事業に反映されるか体感頂きたいと考えております。

木野田　：すべての会で一貫性をもって進めた方がしっかりと落とし込みも出来ると思いますので、関わりの中で自分の意見を伝えて良い学びの場として頂けましたらと思います。

鈴吉　　：ＳＤＧｓの講習から企画会議まで一週間となっておりますが、持って帰ることが出来る書類はあるのでしょうか？

盛田　　：資料として持って帰れるものについて、今のところありません。講習会のまとめの際に宿題ではないですが、持ち帰って考えてくるものを実施しようと思います。

鈴吉　　：子どもたちがメモをとったりする用紙はあるのでしょうか？

盛田　　：そちらは準備します。

鈴吉　　：高校生など夏休み期間ということもあり、ＳＤＧｓを学んでから企画会議までに忘れないような設えをして講習会が無駄にならないようにしてください。

盛田　　：熱が冷めないような工夫を考えたいと思います。

橋　　　：企画会議でどれだけ意識を高められるのかが肝かと思いますので、色々と工夫を当日までに考えてもらえればと思います。また、とてもボリュームが大きい事業可と思います。立案はまち委員会ですが、全体での事業となりますので他の会員に情報をしっかり落として皆で取り組めるような設えをしてもらえればと思います。

木野田　：オリジナル缶バッジを無料配布とあるのですが、これは作るのですか？予算に計上されていますか？

田上　　：全体的に予算が膨れたため、予算からは削除しております。計画書については、削除を忘れておりました。

井上　　：長期的な事業となっていますが、最初の印象が大事で集まってもらった人に何を考えてどうなって欲しいのかを今後リハーサル等で考えた方が良いと思います。あと、ハロウィン等を経験した中で台風が来た際に延期はないと思いますが、中止の判断時期や決定方法、中止の際の連絡体制など考えていてもらえればと思います。

盛田　　：若い世代の気持ちを高めることができるようにしたいと思います。中止の取り決めは構築したいと思います。

前田　　：なかなかタイトなスケジュールですが、対外参加者が３９名となっている中で、ＳＤＧｓを学びたい人を集めるのか、まちづくりに携わりたい人を集めるのかを教えてください。また、その若い世代の人たちを今から集めるのですか？

盛田　　：〆切は考えていないのですが、事前に学校にお願いしておりまして、そちらの方を優先にと思っております。

前田　　：リストではないですが、この学校から何人という数字が出ていますか？

盛田　　：まだリストはできていません。学校によっては名前まで出ております。

前田　　：夏休み中なので、今から２週間で３９名集めることができるのか？一人で各学校を集めることは不可能だと思うので、担当を決めて回る等の工夫がもっと必要であると思います。研修会まで２週間ですが、３９名集めることは厳しいのかなと思います。会員の知り合いなどをリストアップするなど必要かと思います。また、参加者はそれぞれ来てもらうのですか？

盛田　　：現地集合で学校さんへは伝えております。

前田　　：当日、来ない人もいるかもしれない。夏休みの期間に２週間で３９名集めることはタイトなので、参加してもらいやすい形を検討のうえで、しっかり対応してください。

常盤　　：気をつけて欲しい部分ですが、台風等の対応について意見もありましたが、協賛について返金するのか、ハロウィンは次の年に実施するという事で進めましたが、取り決めをしっかりと決めて対応してください。

盛田　　：踏まえて協賛の依頼時に説明できるようにしたいと思います。

東井上　：審議資料の講師承諾書の日付など、ミスが多いです。この様な状態で事業ができるのかと疑問になります。メンバーを巻き込んでやるのは前提ですが、やはり中心となるのは委員長かと思いますので３か月間、真剣に向き合う覚悟が出来ているのか教えてください。

盛田　　：資料の不備に関しまして申し訳ありません。私としては、事業と向き合って若い世代の人たちにしっかりと効果があるようにしたいと思います。

東井上　：ありがとうございました。想いは先ほども伺っておりますので、明日からも真剣に向き合ってもらえましたらと思います。

南郷　　：昨日、添付頂いたチラシのＰＤＦに、うちわとＴシャツのデザインがあるのですが、こちらは作る予定でしょうか？

盛田　　：添付しているのですが、デザイン案を頂いただけで作成予定はありません。削除させてください。

南郷　　：了解しました。

井上　　：対外対象者に関しては、来場者も含めるという形でしょうか？

盛田　　：来場者も含めております。

井上　　：であれば、どの様に意見を集約して検証するのでしょうか？

盛田　　：フェスへの参加者に対しての検証方法については、考えておりませんでした。

井上　　：予算がかからない事でも検証のやり方は色々とありますので、当日までに構築していただけましたらと思います。

田上　　：審議繰り上げ動議

セコンド　鈴吉　木野田

全会一致で審議繰り上げとなる。

盛田　　：計画中になかなか信用に値しない事もあったかと思いますが、しっかりと事業と向き合っていきたいと思います。

南郷　　：気になる点は確認させて頂きましたので問題なきことを報告いたします。

前田　　：一点だけ、協議の際にも話をしたのですが若い世代を集めて事業を成し遂げたいという想いがあるので意思があっても参加できない人もいるかもなので、休んだ人へのフォローアップをしっかりとして９月の実施までに募集をかけていければいいのかなと思います。

藏元　　：他に無きようでありましたら審議を諮りたいと思います。

　　　　　審議

全会一致で審議可決

板元　　：休憩動議

セコンド　田上　鈴吉

２２：２５まで休憩となる。

出席確認　監事　井上　正樹くん

協議事項２：２０１９年度４月例会報告書並びに決算書について

田上　　：前回で意見をもらいましたアンケートについては次回活用できるよう議案の方に反映させて頂きました。

盛田　　：前回の指摘意見に関しまして対応させて頂いております。

田上　　：審議繰り上げ動議

セコンド

全会一致で審議繰り上げとなる。

南郷　　：決算書に関しましてはすべて確認できております。

藏元　　：他に無きようでありましたら審議を諮りたいと思います。

　　　　　審議

講師承諾書の日付全会一致で審議可決

協議事項２：２０１９年度９月例会計画書並びに予算書（案）について

鈴吉　　：変更点としましてオブザーバーとして２人お呼びして講演をお願いしようと思っております。詳細は委員長より説明致します。

重野　　：例会のプログラムの中で、講師２名の方に話をして頂こうと思っております。現在 出演依頼と確約は頂いております。今後、事前打ち合わせの中で内容を詰めていきたいと思います。

板元　　：１点確認ですが、中重市長は良いと思うのですが、古川社長については、講師料金は不要なのですか？

重野　　： そのように考えております。

板元　　：今後、打ち合わせの中で変更はあるのでしょうか？

重野　　：変更なく進めようと思っております。

東井上　：事前配信は、良いのですが古川さんのプロフィールは添付しないと良いのか、悪いか判断が出来ないかと思います。

板元　　：今の進行表を見るとひとり２０分少しの時間となっているので一人３０分程の話す時間があっても良いのではないでしょうか？

重野　　：例年２１：００終了となっていたのですが、早めに終える予定でいましたが一度持ち帰り対応したく思います。

田上　　：講師は二人とも呼ぶのですか？

重野　　：市長は、対内外へのＰＲも含めて考えております。そして経済界から古川さんの方に話をしてもらえればと思っております。

田上　　：板元委員長の意見と類似するのですが、良い話であれば時間は検討頂ければと思います。

前田(大)：最近出席率が思わしくない中で、９０％も目標に数字的に２０％あげるためにゲストを２名呼ぶ中で、会員に何を持ち帰って欲しいのかというテーマがないです。まずは委員長と副理事長でしっかりとテーマ設定してください。

藏元　　：委員長が良いと思っても理事会の場で共感を得られなければいけないと思います。あと、講師に対しては案内ではなく依頼になるかと思います。その中で、どの様な話をして欲しいのか何を持ち帰るのかは明確にしてもらえましたらと思います。

前田(大)：以上で、２０１９年度９月例会計画書並びに予算書（案）を閉じさせて頂きます。

協議事項３：２０１９年度５月例会報告書並びに決算書について

木野田　： 合同例会についての報告書になります。

板元　　： 前回ヒアリングの必要性を指摘頂き、数名に意見を聞いて反映させております。シニア事務局については改善しなければいけない点として記載しております。

前田(大)：次年度への引き継ぎのところで改行がズレテいる部分がありますので確認をお願いします。

橋　　　：確認ですが、どうなることで次回より良くなるか教えてください。

板元　　：シニア事務局の案内もあるのですが、はじめてに近いぐらいの試みの中で、今後も積極的に交流をしていくことが必要なのかなと思います。

木野田　　：審議繰り上げ動議

セコンド　田上　盛田

全会一致で審議繰り上げとなる。

南郷　　：決算書に関しましてはすべて確認できております。

藏元　　：他に無きようでありましたら審議を諮りたいと思います。

　　　　　審議

全会一致で審議可決

藏元　　：私もよい試みであったと思います、実施時期も含めて次年度へ引き継いでもらえればと思います。

南郷：延長動議

セコンド　橋　重野

２３：３０までの延長となる。

協議事項５：２０１９年度１０月例会計画書並びに予算書（案）について

木野田　：１０月例会の計画書となります。詳細は委員長より説明致します。

板元　　：前回のご指摘で日程のタイトな部分が懸念され参考資料の方に日程設定のヒアリングを添付しております。どちらでも良いという意見が多い中ですが全国大会を考慮すると２２日の方が良いかと思い変更しております。内容は変更ありません。通常の例会後にレクレーションという形で実施できればと思います。

前田(大)：２回目となりますが、細かい点も確認頂ければと思います。

南郷　　：予算書についてですが、今回予算がかからない例会ですので様式１２のところは０円で訂正してください。

東井上　：霧島ＪＣ大運動会の予算書での収益は何でしょうか？

板元　　：レクレーション参加者に対して３００円かかりますと案内文に記載しております。

前田(大)：鎌田建設さんの使用料が０円とのことですが、詳細を教えてください。

板元　　：空調等の光熱費も支払いますと説明したのですが、会社的に収益がでるといけないとのことで０円となっております。

前田(大)：ちなみにどなたと話をしたのですか？

板元　　：事務の方との話ですが、予約時に鎌田たかしさんと話をしており同じ内容でした。

盛田　　：３００円というのは一人ですか？

板元　　：会員分で計算しておりますので一人若しくはひと家族となります。

鈴吉　　：案内文に金額徴収の記載をすると予算書に反映しないといけないかと思いますので、財政に確認してもらえればと思います。

前田(大)：事業計画には運動会を外した形でした方が良いのかは監事にも相談の上で早急に対応したいと思います。

鈴吉　　：もう一点ですが、例会にも家族を呼ぶという考え方でしょうか？

板元　　：その様に考えております。

前田(大)：そうなってくると人数も変更となるかと思いますので対応お願い致します。

前田　　：運動会に拘っているところでありますが、祝日とはいえ朝一例会を開催することが最近、出席率が低迷している中で、この時間で人が集まる工夫があるのでしょうか？あと、家族での参加となった時に独身の人が参加しやすいものなのでしょうか？そこら辺をクリアする様な工夫をしっかりと検討頂ければと思います。

板元　　：おっしゃる通りだと思います。例会に重きを置いて考えて参ります。

藏元　　：楽しいものだとは思うのですが、例会の本質を忘れないようにして欲しいのと時間を含め最適であるのかは委員会で考えてもらえればと思います。

前田(大)：以上で、２０１９年度１０例会計画書並びに予算書（案）を閉じさせて頂きます。

協議事項６：２０１９年度１１月例会計画書並びに予算書（案）について

前田(大)：例年であれば褒賞例会が実施されているところですが、今回は内容を変えて計画しております。テーマは原点回帰としております。

橋　　　：今年度の色としては、新入会員が増えております。オリエンテーションでＪＣについての話はあるのですが、霧島ＪＣの３２年間の軌跡や設立の想いを落とし込めればと思っております。講師については初代に丁重にお断りされまして、２代目の赤塚先輩の方で考えております。

盛田　　：シビックセンターの多目的ホールとのことですが、理由があるのでしょうか？

橋　　　：想い的な部分が強いのですが、しっかりとした会場でという理由でありますが再度考えさせて頂きたいと思います。

板元　　：目的のところなのですが、できた経緯をふくめて方向性という表現で良いのか疑問に思います。存在意義の再確認という表現の方が良いかと思います。

橋　　　：設立からの方向性という表現であったのですが検討させて頂きたいと思います。

東井上　：同じく目的のところですが、テーマを踏まえると方向性ではないかと思います。あと、背景と目的のＪＣ運動活動は統一してください。もう一点ですが、講師であれば飲み物等の準備はしてもらえればと思います。

橋　　　：背景・目的のＪＣ運動活動の統一は修正して参ります。方向性に

前田(大)：補足ですが、方向性というのは２０１９年度から引き継ぐための方向性という認識でしたが言葉が足りない部分もあるかと思いますので目的がふたつにならないような形で考えて参りたいと思います。

板元　　：内容的におもしろいなと思うのですが、赤塚先輩が会員に向けて話をするとおものですが、会員とラフに関われる設えがされていると更に良いのかなと思いますので会場も含めて検討頂ければと思います。

橋　　　：雰囲気作りも含めて再度検討してきたいと思います。

重野　　：参加促進のところのキャラバンのイメージを教えてください。あと、チャーターメンバーが多くいる中で、なぜ赤塚先輩なのか教えてください。

橋　　　：キャラバンは合同委員会の際にというイメージでしたがもう少し色を入れて考えたいと思います。講師については当初、初代としている中で若松先輩とのＪＣの事業をはじめたのは２代目からと話の中で立ち上いう点と立ち上げも知っているため赤塚先輩としております。

常盤　　：原点回帰は必要と思うのですが、なぜ１１月例会でする必要があるのか理由を教えてください。

橋　　　：２０２０年に繋げるためにも１１月でしたいと思います。

常盤　　：わかるのですが、１年間頑張って褒賞例会がないという中で会員はどう思うのかなと個人的に思います。これが悪いわけではないのですが、会員から聞かれて回答できるような答えを出してもらえればと思います。

橋　　　：１年間の慰安ではないですが、懇親会なのか１２月の総会なのかで褒賞は行いたいと思います。

前田(大)：過去３年の報告を見る中で、歴の長い先輩の卒会、新入会員の入会もありバトンの受け渡しではないですが１１月の例会でしたいと考えております。

前田　　：２年前の周年の時に歴代をまわった中で、また初代という思う部分はあります。２０周年の時に同じ例会をしていますので霧島ＪＣの３２年の中で現状と近い時の理事長などいらっしゃるのではないかと思います。なぜ、１１月にするのかについては疑問に思うところありますので計画の中で理由をしっかりと盛り込んでもらえればと思います。

橋　　　：資料的に足りていないところもありますので、次回までにさせて頂ければと思います。

藏元　　：皆さんの意見を聞く中では、運営型と理事メンバーの考えの違いがあると思いますので、説得できる材料と納得できるものを持ってこないと会員にも伝わらないと思いますので、方向の修正も含め検討ください。

前田(大)：以上で、２０１９年度１１例会計画書並びに予算書（案）を閉じさせて頂きます。

板元　　：延長動議

セコンド　橋　南郷

２４：００までの延長となる。

協議事項７：２０１９年度６月例会報告書並びに決算書について

鈴吉　　：１回目の報告上程となります。正副指摘含め確認お願いします。

重野　　：参加促進について細かくアンケートをとり参考に添付しております。

板元　　：調整さんの使用についてデメリットもあるのではないでしょうか。見える化は良いと思うのですが、行かないという記載があると雪崩方式に出席率が下がるのかなと思いますので使用方法は気を付けた方が良いのかと思います。

重野　　：計画段階でも懸念されている中で、メリットの方が大きいと思っていたのですが、再度検討したいと思います。

木野田　：事前準備の検証のところのＰＰＴって何ですか？

鈴吉　　：パワーポイントです。

田上　　：私にとってＦＡＸ案内は、ありがたいツールであると前回意見をさせてもらったのですが、個別に案内方法を変えていると文章が届かない、把握が出来ないなどの間違いや問題が懸念されます。含めた形で公式文書の取り扱いや工夫を考えて頂けましたらと思います。

重野　　：もっともな意見であるのですが、メインは電話連絡なのかなと思います。ＦＡＸが必要な会員もいらっしゃると思う中で、そろそろ変更しても良いのではないかと思い報告書を作っております。

前田(大)：意見はわかるのですがＦＡＸについて必要、不必要まで報告書で断定する必要はないかと思います。個人的に事業内容が凄く良かったと思っていますのでメインの部分にももう少し触れた報告をしてもらえればと思います。

木野田　：次年度への引き継ぎのところですが、どの様なという部分が不足しているのでわかりにくいと思いますので、もう少し詳細を記載してください。

重野　　：しっかりと引き継げるように詳しく記載して参ります。

前田　　：あくまでも理事長名で案内をする以上、公式文書となります。元々は、郵送でしていましたがコストを考慮してＦＡＸになった経緯があります。ＬＩＮＥでは理事長名が記載されていますか？簡素化も必要なのですが、組織としての動きとして考えてもらえればと思います。

重野　　：ＦＡＸもお金がかかるので、メールで良いのではないかなと思っております。簡素化だけでなく時代の流れなのかなと思っております。

前田　　：メールならメールにすると委員会だけでなく公式文書は、今後メールでするなら統一するなど組織としてどうするかという部分かと思います。メールアドレスのます。組織としてどうするかを考えてもらえればと思います。

藏元　　：色々な媒体があるなかで、変えるべきもの残すものについては、また運営方含めて考えていければと思います。

前田(大)：以上で、２０１９年度６月例会報告書並びに決算書を閉じさせて頂きます。

監事講評

常盤　　：第７回理事会でしたが、正会員が４名増えました。今日も多くのオブザーバーが参加するなかで、理事会を経て事業が実施されていることを少しでも把握頂ければと思います。仮会員も２名増えました。板元委員長はじめ良い流れかと思います。今後は例会に含め事業に対してのフォローもでてきます。ＪＣの醍醐味は事業だと思いますので、アクティブになれるかどうかはフォロー次第かと思いますので、委員会全体で動けるように副理事長はじめ気を付けてもらえればと思います。まちづくりの事業が審議可決されました。審議資料の誤字などあり通すべきなのか悩ましいところではありましたが、盛田委員長がやって良かったと思えるように皆で取り組んでいければと思います。

井上　　：まず、遅参となりまして申し訳ありませんでした。次年度の動きも出てくるのですが、まずは今年度をしっかりと締めくくってもらえればと思います。まちの事業も審議可決され委員長の決意の涙もありましたが、皆を引っ張っていくという覚悟をもってすすめてもらえればと思います。厳しい意見もありましたが、みんな良い事業にしたいという想いがあるので、静観するのではなく委員長同士の横の繋がりをもって成功できるように頑張ってもらえればと思います。

次回開催

令和元年　８月　８日　　第８回正副理事長会議

令和元年　８月２７日　　第８回理事会

１７．閉会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　田上　俊介　　　君

議長・理事長（代表理事）　　　　藏元　国明　　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　木野田　幸平　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　板元　幸仁　　　　　　　　　㊞

監　　　　　　　　　事　　　　　井上　正樹　　　　　　　　　㊞